



## 1. 公衆衛生業務の充実について

**質疑** 各区の保健センターについて大幅な組織改正が行われるが、その内容・理由について伺いたい。



**答 担当局長** 現在、保健センターは「健康福祉課」と「こども家庭支援課」の2課体制だが、令和4年度よりこの2課を統合することで、業務間の連携をより強くして、複雑多様化するニーズに対応できるようにするとともに、新たな感染症や災害対応にも対応できるようにしたい。

**かじ  
要望** 統合により幅広い業務に対応でき、コロナを含めあらゆる保健衛生業務が充実するとともに、複雑多様化している市民ニーズに対応頂きたい。

## 2. データを活用した市民への健康づくり対策について

**質疑** 市民向けポータルサイト「スマートこうべ」が3月下旬に開設予定だが、これを通じて、健康やヘルス分野について、市民ニーズに応じた情報・データを積極的に発信されると思うが、どのように活用されるのか伺いたい。

**質疑** データ活用による高齢者へのフレイル対策についての政策展開は。



**答 担当局長** 利用者である市民の属性や興味・関心に応じて、市政情報や地域情報を取得できる機能がある。健康分野として、予防接種が受けられる医療機関を地図上から検索できる機能や、健診の受診勧奨など効果的な活用を検討している。

**答 担当局長** コロナ禍によってフレイルが非常に増えると危惧しており、健診とかレセプト、介護データなどを活用して高齢者の健康課題の把握や支援を行っていく。

**かじ  
要望** 健診データやレセプトデータなどを活用した「ヘルスケアデータ連携システム」の運用も始まっており、その結果として市民の健康増進や予防医療に寄与するよう努めてもらいたい。

## 3. 神戸市看護大学の運営について

**質疑** 在籍する学生が単位取得後に受験資格を与えられるのは、看護師免許だけであり、保健師免許については選択制かつ20人の選抜制である。他大学では在籍生全員に看護師と保健師の受験資格が与えられる所もあり、優秀な学生を集める観点で検討すべきと考えるがどうか。

**かじ  
要望** 多くの学生に選ばれる看護大学を目指すとともに、より多くの卒業生が市内の医療機関に就職し活躍頂けるよう努められたい。



## 1. 脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて

**質疑** 再生可能エネルギーの導入促進に関して、令和4年度の組織改正で企画調整局からエネルギー政策が環境局に移管されることとなるが、環境局としての考え、意気込みを伺いたい。

**質疑** 電動車の普及促進として、燃料電池車を市長公用車に導入され、加えて新年度には燃料電池バスの導入についての補助が制度化された。今後の導入促進に向けた考えは。

**質疑** 再生可能エネルギーの導入促進としての太陽光発電について、国は野心的に取り組むとしているが、市としての方針及び公有施設に対する設置促進の考えは。

## 2. 外部給電・神戸モデルについて

**質疑** 令和5年度末までに避難所に指定されている小・中学校の体育館に整備されると聞いているが、給電確保の課題にはどう対応するのか。

## 3. ICTを活用した環境教育の充実について

**質疑** 教育委員会がGIGAスクール構想を進めているが、ごみの分別やリサイクル、地球環境や生物多様性、SDGsなど、子どもたちの学びのためICTを利活用したコンテンツを導入する予定は。

**質疑** 大人も環境について学ぶという観点での取り組みは。



**答 局長** 神戸市地球温暖化防止実行計画について骨子を示し、神戸の豊かな自然環境を生かし、脱炭素による暮らしと社会の実現を可能なものとするため、水素エネルギーの利用促進をはじめとした施策に対し、体制を大幅に強化して取り組んでいく。

**答 環境保全部長** 普通乗用車は補助実績、登録台数が増えている。燃料電池バスは、まず市バスに1台導入し、今後民間事業者も含めて増えるよう努めたい。また、水素ステーション整備に対しての補助も用意しており、積極的に普及啓発に努めたい。

**答 局長** 市だけではなく、事業者、市民とともにイノベーションなど取り入れながら、再生可能エネルギーを促進していかたい。また、公有施設への設置はこれまで取り組んできており、さらに積極的に増やしていかたい。

**答 局長** 危機管理室と連携して、自動車販売業者と連携協定を結び、またA.I.防災協議会と連携して、給電サポートマッチングシステムを全国に先駆けて開発し実証実験を行った。今後も関係者と協力しながら進めていきたい。

**答 副局長** これから環境教育にはICTを活用して子どもたちが理解しやすく、効果的に学んで頂くことが重要だ。動画などデジタルコンテンツの拡充や、授業等で活用しやすいような工夫など、よりよい教材づくりに努めたい。

**A 副局長** ポータルサイト「スマートこうべ」と連携し、環境に関連する情報をタイムリーに届けられることから、これを最大限に活用して効果的な情報発信を行っていきたい。



## 1. 発達障害者への支援について

**質疑** 令和4年度以降、発達障害者支援に係る相談業務が委託されると伺っているが、当事者やその家族の方への支援策という意味でどのように対応されるのか。



**答 副局長** 多岐にわたるニーズに対応していくため、支援の充実、そして質の維持・向上が引き続き求められている。まず、発達障害者支援センターは市役所に移転し施策の企画・立案を、そして4か所ある相談窓口をネットワーク化して連携を強化していく。

**かじ  
要望** 本庁と各相談窓口との役割をしっかりと明確化し、個別相談事案に応じたきめ細やかな対応をお願いしたい。

## 2. 災害時における要援護者支援について

**質疑** 神戸市の条例に基づき、要援護者台帳の作成や地域の支援団体との連携協定などの情報共有は進んでいるが、長期化しているコロナ禍の影響で、地域活動を通じた市民の集まる機会が減っている。このような状況を踏まえ、どのような体制を構築していくのか。

**質疑** 地域活動を担っていただいている方々だけでなく、すべての市民が要援護者支援とは何かという認識を共有できるよう、そして支援への意識を高めていけるよう周知、PRして頂きたいがどうか。

## 3. 「スマートこうべ」との連携について

**質疑** 市民目線で必要な情報やサービスが入手・利用できるプラットフォームとして「スマートこうべ（ポータルサイト）」が構築予定であり、Webサービスの集約・ワンストップ化が進んでいく。高齢者や障害者の方たちがこのスマート化の流れにスムーズに対応できるよう福祉局として取り組んでもらいたいがどうか。

**答 局長** 福祉局として、誰一人取り残さないというのが大きな命題だ。スマート化の流れに乗り遅れないよう丁寧に対応したい。

